



うじいえ 自然に親しむ会

会報誌 第20号

令和元年12月26日
(2019年)



会長就任のごあいさつ

令和元年5月25日の定期総会において会長人事が承認され、私、高橋 伸拓（たかはし のぶひろ）が就任し、これまで16年間という長きにわたり尽力いただいた加藤啓三氏には、「参与」として今後とも運営への助言および、市内各小中学校の環境教育を担当していただくこととなりました。

私は、旧氏家町の勝山生まれ、物心ついたときには勝山城址や鬼怒川で遊んでいました。現在の上阿久津台地は区画整理が実施され、昔の面影は見られなくなりましたが、南小学校やミュージアム周辺の多くに昔の記憶が残っています。新堀用水がコンクリート水路となったものの、草川用水、とくにゆうゆうパークに隣接した周辺は昔の面影を残しています。



上阿久津台地のサシバ

そのような地域、鬼怒川河川敷周辺に生育・生息する動植物を守るための活動を、さらに充実したものにしていきたいと考えています。とくにシルビアシジミの保全に端を発する当会ですので、食草であるミヤコグサを増やすための研究や巡視のあり方の検討に力を入れるべきと思っています。また、その他にもカワラノギクをはじめとする礫河原に生育する希少植物に対しても保全を進めようと考えています。

上阿久津台地には、希少になりつつあるサシバが営巣していることや、鬼怒川の河畔林にはオオタカやハヤブサがみられる豊かな自然が残されています。さらに礫河原には、ツマグロキチョウやカワラバッタ、ウスバカマキリなどが生息し、カワラニガナやオキナグサが生育しています。この生物多様性豊かな環境を保全するためには、会員の皆さまのご協力が不可欠です。今後とも変わらぬご支援をお願いしたいと思っています。

高橋 伸拓（たかはし のぶひろ）

旧氏家町勝山、昭和48年10月生まれ（46歳）

南小学校から氏家中学校、宇都宮北高等学校、足利工業大学（現、足利大学）を経て社会人へ。

社会人入学にて宇都宮大学から東京農工大学にて博士（農学）を取得。

現在、平成理研株式会社 勤務。

魚類及び両生類の保全生態学が専門。

測量士、1級ビオトープ計画管理士。

日本野鳥の会栃木県支部 幹事。



加藤啓三前会長、退任のごあいさつ

大変お世話になりました。

平成 15 年（2003 年）5 月 25 日の「うじいえ自然に親しむ会」の発足総会から、会長を務めさせていただきました。最初は 32 名の会員でのスタートでしたが、現在は 202 名の会員数です。多くの方々のご理解とご協力で何とかやって参りました。



特に、元東京大学保全生態学研究室（現中央大学保全生態学研究室）の鷺谷いづみ先生、村中孝司先生、須田真一先生、西廣淳先生、石井潤先生、現顧問の中村和夫先生、田代俊夫先生、松田喬先生には多くのご指導をいただき、今日の活動の基礎ができました。

なお、国土交通省下館河川事務所・氏家出張所、栃木県自然環境課、さくら市環境課・都市整備課公園係・農政課、さくら市ミュージアム、栃木県立博物館、とちぎ環境・みどり推進機構、宇都宮市環境保全課、リバーフロント整備センターなど、多くの方々に大変お世話になりました。



更に、氏家ロータリークラブ、とちぎモーターパラグライダークラブ、氏家病院、三井住友信託銀行宇都宮支店、ニッカウヰスキー栃木工場、キャノン宇都宮事業所、本田技研工業、本田技術研究所、ホンダカーズ栃木販売店、JTB 宇都宮支店、生活協同組合パルシステム東京、JA しおのや、桐生自然観察の森、久喜市青毛堀・稲荷台用水環境保全会のご協力をいただきました。

学校関係では、さくら市立氏家小学校、押上小学校、熟田小学校、上松山小学校、南小学校、喜連川小学校、さくら市立氏家中学校、喜連川中学校、宇都宮市立旭中学校、陽東中学校、上河内中学校、栃木県立さくら清修高等学校、宇都宮白楊高等学校、私立日々輝学園高等学校、国立大学法人東京大学、宇都宮大学、中央大学などにご協力をいただきました。



皆様方に深く感謝いたし退任のごあいさつといたします。



副会長への就任にあたって

● 佐々木 英二 （ささき えいじ）



福島県出身、宇都宮市在住

（昭和 39 年 5 月生まれ（55 歳））

宇都宮大学工学部 卒業

環境計量士、環境カウンセラー

主に勝山探鳥会のリーダーとして活動をしていました。近年は、栃木県内外の N P O 等の環境関連各団体との協働による活動が増えています。

今年、うじいえ自然に親しむ会の副会長を拝命しました。勝山探鳥会がご縁でうじいえ自然に親しむ会に入会、その後カワラノギクやシルビアシジミの保全活動に参加してきました。

今後、地球温暖化や外来種の移入など、生き物たちを取り巻く環境はさらに厳しくなると予測されます。さくら市内の素晴らしい自然を次の世代につなげるため、できることを会員の皆さんと一緒に考え、活動していきたいと思います。

● 木村 健司 （きむら けんじ）



栃木県出身、宇都宮市在住

（昭和 53 年 1 月生まれ（41 歳））

東洋大学工学部 卒業

第一種作業環境測定士

平成では理事として活動していましたが、令和元年度より副会長として積極的に会長を支える。

母なる川の鬼怒川を中心とした本会の活動に参加し、保全活動の中で鬼怒川の生物多様性を知り、子供たちにこの自然を残していきたいと強く思い始めました。

今年は、台風により鬼怒川が増水し保全地が水に浸かったり、溜池が決壊したりと、今までにない大規模な災害が目立ちました。少しでも出来る事を広げ、将来に繋げていきたいと考えています。

高橋会長を始め、会の皆様と一緒に頑張っていきたいと思っています。

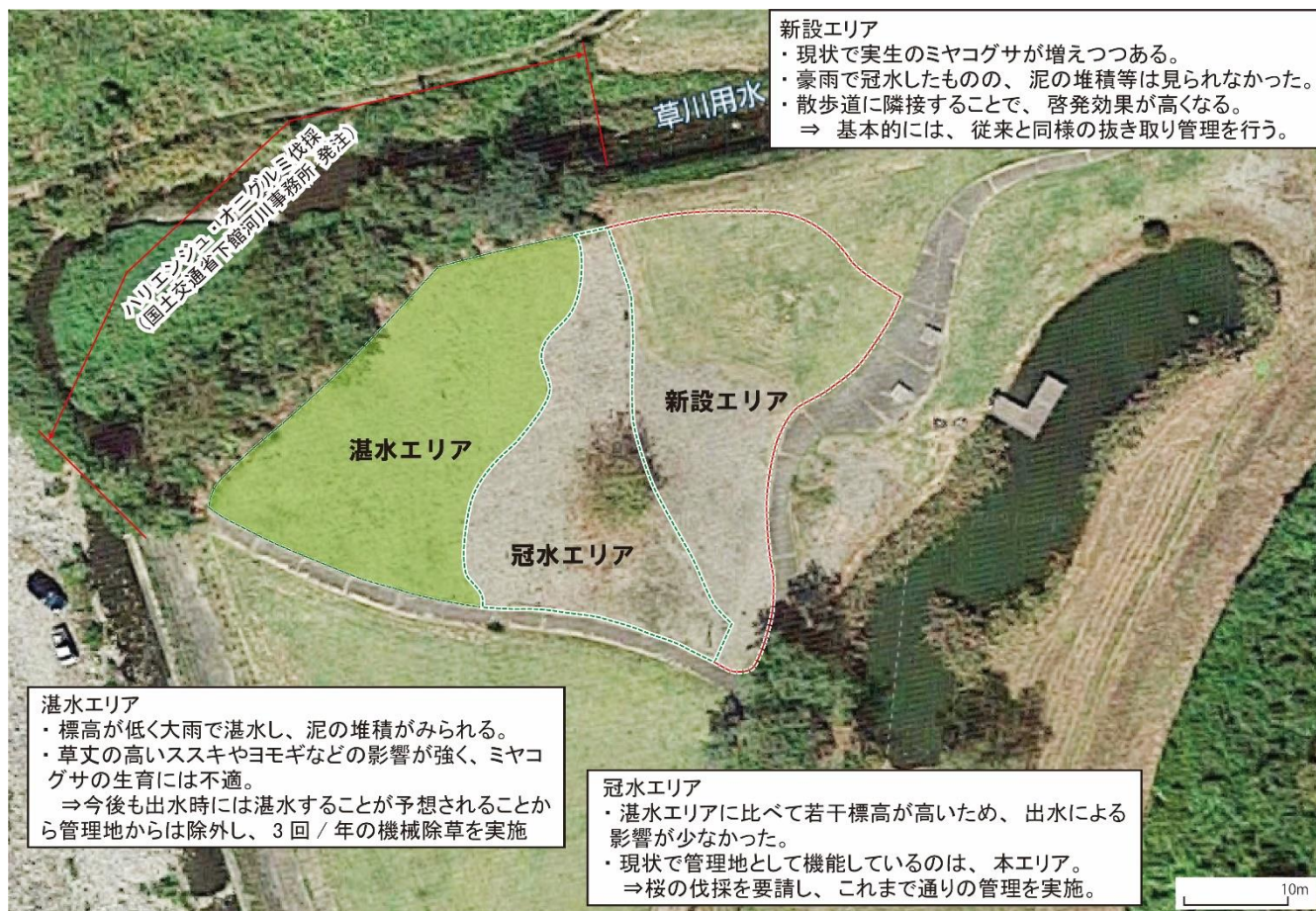
今後とも宜しくお願いします。



管理地の状況

1 ミヤコグサ第一管理地

平成 27 年の豪雨で冠水し、多くの泥が管理地全体を覆った状態を経て、今年の台風 19 号による影響で再度冠水しました。さらなる被害に備え、第一管理地のエリアを変更し、今後もあるであろう災害からミヤコグサとシルビアシジミを守ることとしました。



冠水エリアと新設エリアを今後の「新しいミヤコグサ第一管理地」とします。



台風 19 号襲来翌日の状況

(左：阿久津大橋から高原山を望む。右：増水の影響が残る第一管理地)

2 ミヤコグサ第二・三管理地

今年の第二・三管理地では、カワラノギクが非常に見事な開花を見せてくれました。今後も継続して種の採取と播種を行っていきます。また、この第二・三管理地は条件のよい立地であるため、ミヤコグサの植え付けなども進めようと思います。



満開のカワラノギク



結実した飛散直前の種

3 カワラノギク保全地（氏家大橋上流河川敷）

今年のカワラノギクの開花数は、第二管理地とは対照的に少なく、種まきに力を注ぐ必要がある状況でした。しかしながら、台風 19 号の影響もみられず、継続的な管理作業により河川環境が改善されると思います。



カワラノギクがまばらに開花する保全地



台風 19 号による濁流で再生された礫河原

4 れき河原保全地（サッカー場西側河川敷）

かつてミヤコグサで覆われていた管理地は、ほとんどがシナダレスズメガヤをはじめとする外来植物が繁茂している状況です。今後、機械除草を実施するとともに、カワラノギクの種の播種やミヤコグサの定植を進めて少しでも環境を改善させていきたいと思います。

（写真：緑に覆われた管理地の全景）





新たな取り組み

1 ログマークの設定

これまで会の正式なロゴマークが無かったことから、シルビアシジミの翅をモチーフとした新ロゴマークを作成しました。



**うじいえ
自然に親しむ会**

2 SNS (Facebook) とホームページ による情報発信

フォロワーが 115 人となり、ホームページとの相乗効果で啓発に有力な効果がみられます。Facebook はホームページとは異なり、発信者と閲覧者の双方向のコミュニケーションがとれる利点があります。Facebook 利用者は、現役中堅世代が多く、学生などの若い世代は Instagram や Twitter を使用しています。この現状を踏まえて、Instagram や Twitter の導入も検討しています。

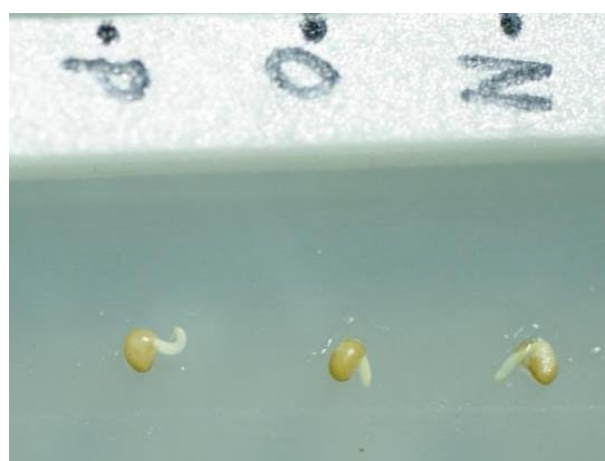


3 ミヤコグサの増殖実験

異常気象が頻発するとともに、夏の高温化が激しいためか、ミヤコグサの減少に歯止めが利かない状況にあります。そこで、従来通りの除草に加え、機械除草をする区間など、管理方法の検証を行います。

なお、硬い殻に覆われたミヤコグサの種は、石などで潰されることで発芽する特性を持つため、ただ播いただけでは発芽しません。

今後は、積極的に種の採取を進め、播種方法の研究を進めていきたいと考えています。



4 中村和夫先生著書「シルビア物語」

本会顧問の中村和夫先生の著書「シルビア物語」が随想舎から出版されました。

書店やネット通販、さくら市ミュージアムで入手できます。是非読んでいただきたいと思います。



出版：平成 30 年 12 月 25 日
1,320 円（税込み）



スケジュール

会の活動は17年目に入りました！

予定日	行 事 名	概 要	区 分
2019年4月6日	草川下流域清掃	・時 間：9:00～11:00 ・集合場所：勝山パークブリッジ下の芝生	済
4月8日	カッコウソウ観察会	・時 間：8:00～16:30 ・集合場所：ゆうゆうパーク駐車場 ・講 師：田代俊夫顧問	済
4月14日	シナダレスズメガヤ抜き取りとカワラノギクの種まき（共）	・時 間：10:00～12:00 ・集合場所：氏家大橋上流カワラノギク保全地	済
4月28日	ヤマブキソウの観察会	・時 間：10:00～12:00 ・集合場所：お丸山公園大手門駐車場 ・講 師：田代俊夫顧問	済
5月25日	シルビアシジミ観察会	・時 間：10:00～11:30 ・集合場所：ミヤコグサ第一管理地 ・講 師：高橋伸拓副会長	済
	総会	・時 間：13:00～13:45 ・場 所：さくら市ミュージアム講座室	済
	記念講演会「奥日光の自然環境教育」	・時 間：14:00～15:30 ・講 師：日光自然博物館 森田孝道先生	済
5月26日	ミヤコグサ管理地 集中除草キャンペーン	・時 間：8:00～10:00 ・集合場所：ミヤコグサ第一管理地	済
6月2日	シナダレスズメガヤ抜き取り作業	・時 間：9:00～11:00 ・集合場所：氏家大橋上流カワラノギク保全地	済
6月5日	オオキンケイギク抜き取り作業（協）	・時 間：9:00～11:00 ・集合場所：ゆうゆうパーク駐車場 階段前	済
6月15日～16日	ミヤコグサ管理地 集中除草キャンペーン（6/29日と30日に一部役員で実施）	・時 間：8:00～10:00 ・集合場所：ミヤコグサ第一管理地	日付変更で実施
6月16日	ホタル観察会（生息水路の水が涸れ、成虫がみられない）	・時 間：19:00～20:30 ・場 所：ゆうゆうパーク階段前 ・講 師：高橋伸拓会長	中止
7月7日	鬼怒川水質調査	・時 間：10:00～11:00 ・集合場所：国交省氏家出張所西側 ・講 師：高橋伸拓会長	済
7月12日	ゆうゆうパーク小川の清掃（協）	・時 間：9:00～11:00 ・集合場所：ゆうゆうパーク芝生のあずまや	済
7月13日	シナダレスズメガヤ抜き取り作業	・時 間：7:00～9:00 ・集合場所：サッカー場西側れき河原動植物保全地	済
7月20日～21日	ミヤコグサ管理地 集中除草キャンペーン	・時 間：7:00～9:00 ・集合場所：ミヤコグサ第一管理地	済
7月21日	夏休みの昆虫観察会と標本作り（協）	・時 間：10:00～15:00 ・集合場所：ミュージアム体験学習室 ・講 師：松田喬顧問	済
7月28日	植物の標本作り（協）	・時 間：10:00～12:00 ・集合場所：ミュージアム体験学習室 ・講 師：田代俊夫顧問	済
8月4日	セミの羽化観察会（協）	・時 間：18:30～20:30 ・集合場所：さくら市ミュージアム玄関前 ・講 師：高橋伸拓会長	済
8月11日	鬼怒川の石ころ観察会（協）	・時 間：9:00～11:00 ・集合場所：さくら市ミュージアム体験学習室 ・講 師：大金 斉先生	済
8月17日	植物標本作り教室	・時 間：10:00～12:00 ・集合場所：ミュージアム体験学習室 ・講 師：田代俊夫顧問	済
8月18日	トンボの観察会（協）	・時 間：9:00～12:00 ・会 場：ミュージアム体験学習室 ・講 師：高橋伸拓会長	済
9月8日	水生昆虫観察会（協）	・時 間：9:00～12:00 ・集合場所：ゆうゆうパーク「伝説の池」 ・講 師：高橋伸拓会長	済
9月15日～16日	ミヤコグサ管理地 集中除草キャンペーン	・時 間：8:00～10:00 ・集合場所：ミヤコグサ第一管理地	済
10月12日	シナダレスズメガヤ抜き取り作業とカワラノギク観察会とBBQ（共）⇒台風19号の影響	・時 間：10:00～15:00 ・集合場所：氏家大橋上流カワラノギク保全地 & ミュージアム講座室	中止
10月26日	いきものフェス	・場 所：東京都台東区、貿易センタービル ・対 応：佐々木副会長、木村副会長	済
10月26日～27日	ゆめ！さくら博	・時 間：10:00～14:30 ・集合場所：さくら市氏家体育館	済
11月17日	勝山探鳥会（共）	・時 間：9:00～11:30	済
2020年1月19日	勝山探鳥会（共）	・集合場所：ミュージアム玄関前	
2月16日	冬の植物観察会（冬芽と葉痕）（協）	・時 間：10:00～12:00 ・集合場所：ミュージアム体験学習室 ・講 師：田代俊夫顧問	
3月15日	勝山探鳥会（共）	・時 間：9:00～11:30 ・集合場所：ミュージアム玄関前	
3月22日	シナダレスズメガヤ抜き取り作業	・時 間：9:00～11:00 ・集合場所：サッカー場西側れき河原動植物保全地	



巡視活動への御礼

本年度は6月～10月の期間に、27名の協力者（延べ683人）により延べ110日の巡視活動を実施しました。ご協力いただいた皆様、大変ありがとうございました。

この結果は、さくら市役所に提出しました。

来年度も引き続き実施しますので、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

巡視活動は、シルビアシジミが生息する鬼怒川河川敷のさくら市側を対象として、外部から採取しに来る人達に対して啓発を進め、乱獲を阻止することで、さくら市の天然記念物として設定している「シルビアシジミ」を守ることです。

関東近県だけではなく、遠方からも大きな捕虫網を持って訪れます。散歩しながらそのような人を見かけたときに、本会のパンフレット等を用いて採取しないように説明しています。

編集後記

平成から令和に時代が移った今年、天候不順が続いたり、度重なる台風の被害に遭ったり、さらに暖冬で小春日和が続いたり、インフルエンザが大流行するなど、皆さんも体調を維持することが大変ではないかと案じています。

生き物の世界でも同様に混乱がみられました。昆虫は、成虫になるべき時期に集中して出現することで子孫を残す確率を高めていますが、タイミングが取りにくいようで、だらだらと長期間に渡って出現する傾向がみられました。これは、来期以降に影響することが予想されます。

また、今回の台風19号のような事態を毎年経験するようになってしまっているのではないかと懸念しています。さくら市では、鬼怒川の氾濫は無かったものの、喜連川下河戸の「向溜」が決壊し生物たちに大きな打撃を与えました。

向溜には、県内でこの溜池の「フトイ群落」のみ生息確認されている“アカガネネクイハムシ”や決壊後に確認された多くのドブガイが危機に瀕しています。

うじいえ自然に親しむ会では、こういった事象に対しても積極的に関わり、さくら市に存する貴重な環境資源を守っていきたいと考えております。今後とも皆様のご協力をよろしくお願いいたします。



向溜の決壊した堤体部分から池内を望む